

### 鉄鋼業界の安定に向けて



長野県鐵構事業協同組合  
理事長 飯島 正博

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃は長野県鐵構事業協同組合の事業並びに、会員企業に対してご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年台風災害は甚大な被害を各地に残しました。一日でも早い復旧・復興が成され、元の平穏な状態が取り戻せますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年の鐵鋼業界は安定的に仕事の需要があった一方で、材料や副資材の手配難や納期の長期化といった問題が生じました。特にハイテンションボルトがひっ迫して過去に無いまでの入手難となって、関係の皆様にはご心配・ご迷惑をおかけいたしました。昨年秋以後にはこのことも緩和されてまいりました。

また、工場従業員・現場作業員・鳶職・現場溶接工や鍛冶工などの技能専門職の不足が一層顕著になっています。工期への影響に及びはしないかと心配されます。鐵構事業協同組合では、鋼構造物鉄工や鳶をはじめとした各種資格取得のための講習会を実施して、技術・技能の

向上の人材育成に取り組んでいます。各種検定の受検者数は年々増加しており、組合員各社の人材育成に対する取り組みへの意識が強くなっているように感じられます。

また、「働き方改革」への対応も急務となっています。鐵鋼業界では中小企業での残業時間の上限規制が4月より開始となります。自社での労働時間の把握や労働時間の見直しへの取り組みも迫られる中で、生産量を維持するために、如何に生産性を向上させるのかが大きな課題となります。省力化のための設備の更新やさらなる新規設備投資などの他、従業員のスキルアップをはかることもかかせません。今年は鉄骨品質の確保のための講習会・研修会の実施、そして組合員企業の社員のスキルアップのために、技術・技能者育成のための教育事業を実施してまいります。そして魅力ある鐵鋼業に向けて労働環境の改善に努め働き方改革を進め業界のこれからの安定につなげてまいりたいと考えています。

本年も、変わらぬご指導・ご協力をお願い致します。皆様のご健勝とご多幸を御祈念申し上げます。

